

まちの話題



災害発生時に安心できる場所を



3月24日(木)に町と株式会社ダイナム(東京都荒川区)は「災害時等での施設利用の協力に関する協定」を締結しました。この協定は、町内において地震や風害など(水害は対象外)の災害発生時、同社養老店の駐車場を車両避難場所として開放し、自家用車などを利用して避難する被災者の安全確保を図るものです。

同社養老店ストアマネジャーの柚木優^{ゆの きまさる}さんは「当社の強みを活かした提案ができ、地域の皆さまに支えられている企業として、地域貢献ができて嬉しいです」と話しました。

町にとって、民間事業者と災害発生時の施設利用に関する協定締結は3例目となりました。

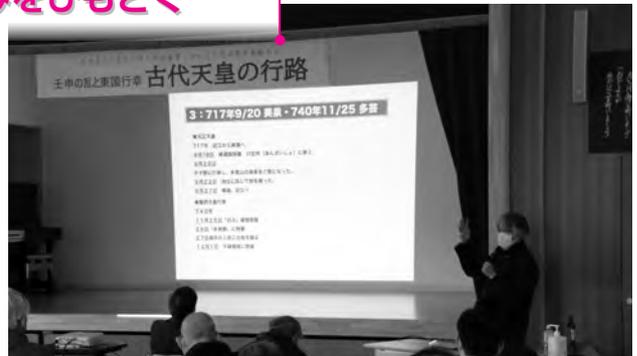
公正・厳正な選挙執行をたてる



3月28日(月)に町選挙管理委員会の伊藤哲^{さとし}委員長への総務大臣表彰の伝達式が行われました。この表彰は、令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙に関して、選挙事務の管理執行に尽力した選挙管理委員会委員の功績をたたえとともに、他の模範とするものです。当町の選挙執行における投票者の利便性向上やコロナ対策のための取り組みが認められ、表彰に至りました。

伊藤委員長は「投開票では間違いの無いよう、慎重に作業を進める必要があります。今後も緊張感を持ち、適正な選挙執行を心掛けていきます」と意気込みを語りました。

古代皇族の歩みをひもとく



養老町と関ヶ原町は、共通する歴史や伝承の共同調査を令和2年度から行っています。3月19日(土)には、上多度プラザにて、令和3年度の調査成果についての報告会を開催しました。町内外から応募のあった60人の参加者が、壬申の乱や天皇の東国行幸の時代に思いを馳せました。

また、3月10日(木)に養老町で、14日(月)には関ヶ原町で同事業の広域ウォーキングが開催され、参加者は学芸員の解説と共に、古代皇族に関連した遺跡や神社を巡りました。